

きしわだ環境フェアの実施目的

環境問題は行政だけで解決できるものではなく、市民、企業、団体などすべての者が具体的に行動することにより、解決に近付けることができる。岸和田市と岸和田市民、市内で活動する企業や各種団体の協働により、市域全体の環境意識向上を図り、環境保全活動への参加意欲を高め、2050年カーボンニュートラルに向けた具体的行動につなげる。

これまでの実施状況

内容

環境保全活動を行っている市民活動団体や企業等に参画いただき、近年は、各種団体ごとにブース出展のような形でパネル展示やクラフト教室、水生生物の展示などを行っていた。

なお、令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。

令和4年度及び令和5年度は開催規模を縮小させパネル展示のみを実施。

場所

岸和田カンカンベイサイドモール、南海浪切ホール、市立福祉総合センター、ラパーク岸和田など。

時期

平成21年度までは産業フェアと同時間開催とし11月上旬に、それ以降は環境月間である6月上旬に開催。

課題・問題点

- ✓ 啓発効果を見込めない（数千人規模の参加が必要と推察）
- ✓ 準備から運営までのすべてを市職員で行っているため、行政と参加団体等との関係づくりに十分な時間を割くことができない など

市民等の環境意識をより向上させ、カーボンニュートラルに向けた具体的行動につながる啓発事業となるよう以下の見直しを検討

- ✓ 今後の「脱炭素社会」に向け、市民や事業者等の意識啓発、また連携を促進する必要性
- ✓ 一過性でなく、真に環境意識の向上が期待されるイベントであること

規模
拡大

- ①カーボンニュートラルの普及啓発による脱炭素行動の促進
- ②子どもから高齢者まで、各世代の人が楽しめる
- ③市民・団体・事業者・行政が、互いにつながる場である

具体的な出展例

- 先進的・独創的な取組を紹介する展示ブース
- 最新型設備の紹介
- 体験型ブース（みる・さわる・つくる）
- ミニ講座
- 事業者同士のミーティングスペース など

イベント運営は業者委託とし、各ブースについては参加団体の自主運営。
市は主催者としてイベント企画を行い、参加団体・参加者等との関係づくりに重きを置く。